

I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援

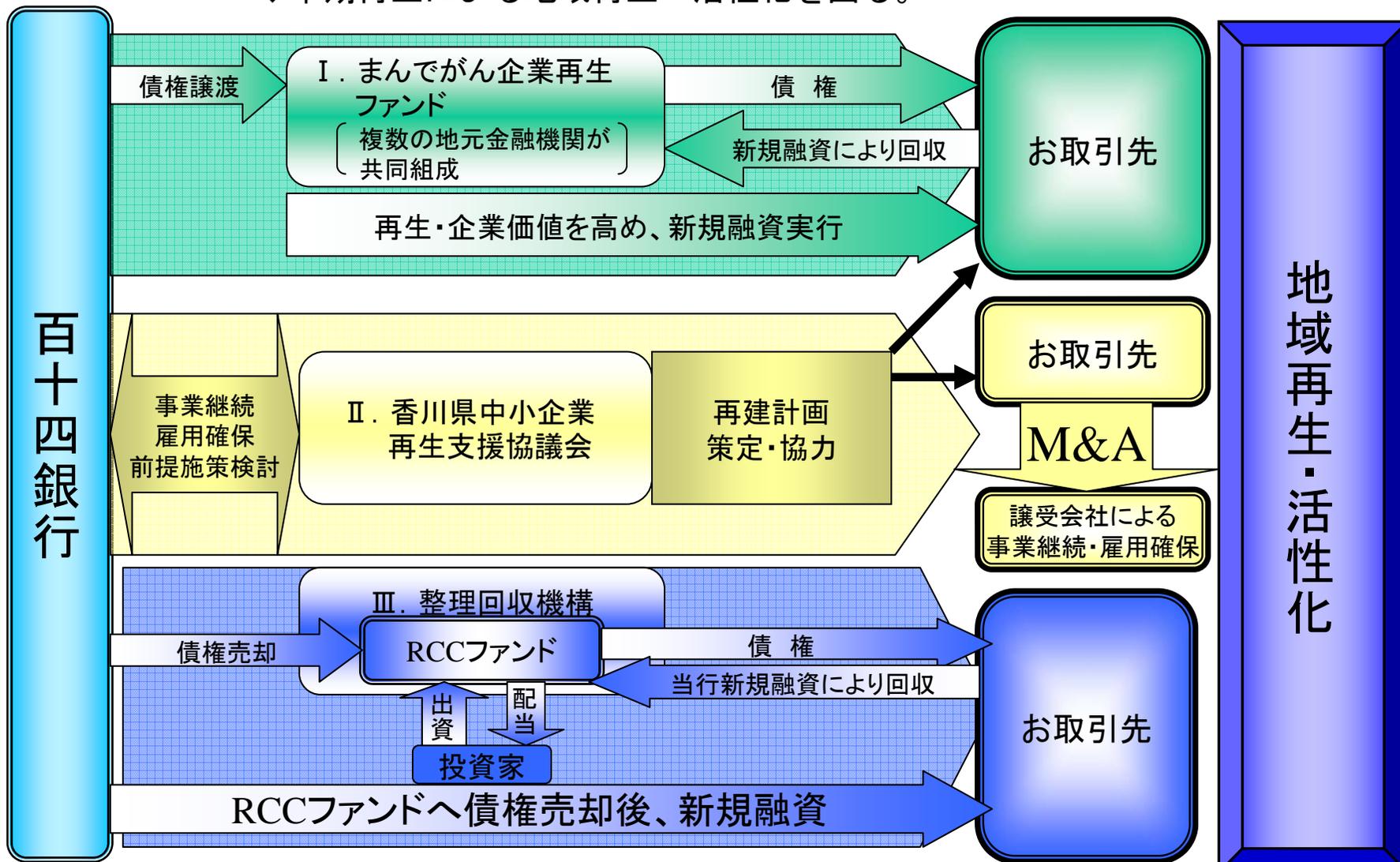
事業再生による地域再生・活性化への取組み

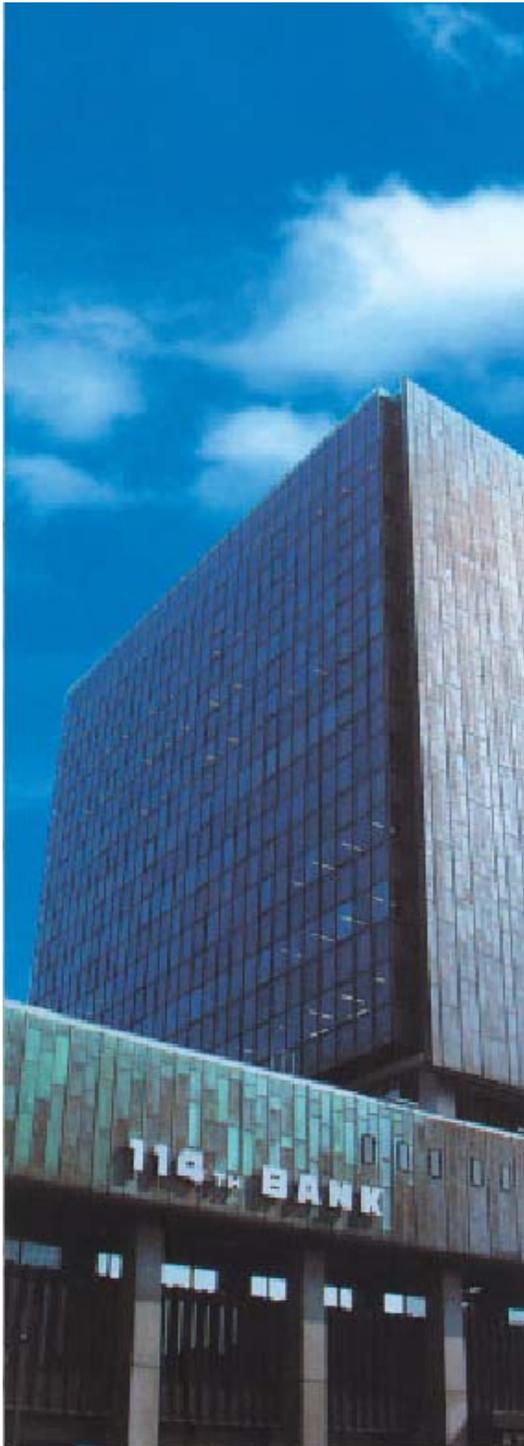
(金融機関名) 百十四銀行

1. 動機 (経緯)	地域金融機関として、事業再生に対する取組みは、営業店と本部が一体となってお取引先をサポートさせていただき、事こそ第一と認識。 そのうえで、外部のスペシャリストとの連携も、大変有効な手段の一つと考えており積極活用。
2. 概要	I 香川県地域再生ファンド『まんでがん企業再生ファンド』を利用した事業再生について II 『香川県中小企業再生支援協議会』を利用した事業再生について III 『整理回収機構スキーム』を利用した事業再生について
3. 成果 (効果)	I 香川県地域再生ファンド『まんでがん企業再生ファンド』を利用した事業再生について 競合激化により不採算店舗発生、見込み生産による商品ロス等により資金繰り難に陥った企業に対して、企業再生ファンドを活用し、事業価値の向上による再生計画を策定。ほぼ計画に沿った再生が進行した結果、当該企業の立地する地域の活性化および雇用の確保が図れた。 II 『香川県中小企業再生支援協議会』を利用した事業再生について 赤字体質が慢性化、資金繰りが悪化した企業に対し、中小企業再生支援協議会のアドバイスや外部専門家との共同支援により計画を策定した上、事業継続・雇用確保を前提にM&Aを実施。その結果、事業譲渡により、当該企業の持つ特殊技術を生かした事業継続、雇用確保が図れた。 III 『整理回収機構スキーム』を利用した事業再生について 不良在庫発生、売掛債権が不良化した企業に対し、RCCスキーム（スポンサー企業を選定し資本増強、事業展開を見直し）による経営改善を実施。再生計画の透明性、公平性が担保され、債務免除、税制面メリットを享受でき、当該企業の持つ技術力と雇用確保が図れた。
4. 今後の予定 (課題)	事業再生の取組みが必要なお取引先に十分なお納得をいただき、より早期に着手が行える様、取組んでいく方針。

事業再生による地域再生・活性化への取り組み事例

- ◆これまで培ってきた手法・ノウハウを活用
- ◆外部機関との連携強化・地域密着型の各種スキームを活用
- ◆早期再生による地域再生・活性化を図る。





事業再生による

地域再生・活性化への取組み

株式会社百十四銀行

1. 事業再生への取組み

I. 香川県地域再生ファンド『まんでがん企業再生ファンド』について

II. 『香川県中小企業再生支援協議会』について

III. RCC（株）整理回収機構）スキームの利用について



2. 香川県地域再生ファンド

I. 香川県地域再生ファンド『まんでがん企業再生ファンド』について

◆平成16年に、香川県下に営業基盤を置く複数の金融機関が、共同して組成。

◆ファンドメンバーとオリックスグループが、連携して取引先の再生を行い、その事業価値を高めて、地域経済の活性化を図ることを目的とする。

(ファンドメンバー：百十四銀行・香川銀行・高松信用金庫・
観音寺信用金庫・香川県信用組合・日本政策投資銀行・
信金中央金庫・オリックス)

◆対象企業の再生計画の策定等は、香川県中小企業再生支援協議会が協力。

3. 香川県地域再生ファンドの活用事例

I. 香川県地域再生ファンド『まんでがん企業再生ファンド』について

【事例1】

- 支援時 : 競合激化により不採算店舗発生、見込み
生産による商品ロス等により資金繰り難
- 選定理由 : 当該企業の立地する地域の活性化および
雇用の確保
- 施策 : 企業再生ファンドの利用
- 特徴 : 事業価値の向上による再生計画の策定
- 現況 : ほぼ計画に沿った再生が進行

4. 中小企業再生支援協議会

Ⅱ. 『香川県中小企業再生支援協議会』について

- ◆平成15年に、経済産業省が高松商工会議所を受託機関として設置。
- ◆『まんでがん企業再生ファンド』も併用して、積極的に支援。
- ◆香川県外の『中小企業再生支援協議会』も、活用。

5. 中小企業再生支援協議会の活用事例

Ⅱ. 『香川県中小企業再生支援協議会』について

【事例2】

- 支援時 : 赤字体質が慢性化、資金繰り悪化
- 選定理由 : 特殊技術の地域での有効活用と雇用確保
- 施策 : 事業継続・雇用確保を前提にM&A
- 特徴 : 中小企業再生支援協議会のアドバイスや外部専門家との共同支援により計画策定
- 現状 : 事業継続され、譲受会社の事業拡大にも貢献

6. RCC(株)整理回収機構)

Ⅲ. RCC(株)整理回収機構)スキームの利用について

- ◆平成11年に、(株)住宅金融債権管理機構と(株)整理回収銀行が合併して発足。
- ◆基本理念は、金融機関の不良債権処理を支援し、金融機能の改善・強化に資すること。
- ◆経営指針は、効率経営を実践し、民営手法の利点を活用すること。

7. RCC(株)整理回収機構)の活用事例

Ⅲ. RCC(株)整理回収機構)スキームの利用について

【事例3】

- 支援時 : 不良在庫発生、売掛債権不良化
- 選定理由 : 雇用確保および地域の活性化も担える企業
- 施策 : RCCスキームによる経営改善
- 特徴 : スポンサー企業を選定し資本増強、
事業展開を見直し
- 現状 : ほぼ計画に沿った再生が進行